

◆ 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために【自ら気づき、考え、行動する + 凡事徹底】

令和2年4月 大村高等学校

1. 日常生活

- ① 3つの条件（換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、近距離での会話や発声）が同時に重なる場を避ける。
- ② 手洗いや咳エチケットなどを一人一人が心がける。
- ③ 免疫力を高めるために、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。

2. 登校前後

- ① 家庭で検温をし、保護者による症状の確認、健康観察記録表への押印等をしてもらう。
- ② 発熱や風邪の症状がある場合には登校しない（特に37.5度以上の熱がある場合）。
- ③ 公共交通機関を利用している生徒は、早朝便を利用するなど、密集状態を避ける工夫をする（離れて座る、会話を控える、マスクを着用する など）。
- ④ 登校後、直ちに手洗い・うがいを行う。
- ⑤ 朝のSHRで健康観察を行うので、必ず健康観察記録表を提出する。
 - ・家庭で検温ができなかった場合には、保健室で必ず検温を行う。
 - ・発熱や風邪の症状が見られる場合には、保護者に連絡の上、早退してもらう。
 - ・基礎疾患（呼吸器系疾患、心不全、糖尿病等）を持っている場合、感染すると重症化する恐れがあるので、必ず主治医に相談の上、登校の判断をする。
- ⑥ 必ず自分のハンカチ・ハンドタオルを持参する。
- ⑦ 登校に関して不安なことがあれば、必ず先生（学校）に相談する。

3. 授業中

- ① 授業中も必ず窓を開け（外庭側、廊下側を対角線上に1か所以上）、換気を徹底する。
- ② 休み時間は、毎時間、窓を全開にする。廊下の窓も常時広く開ける。
- ③ 共用する物品（パソコンや体育の用具等）を使用した後は、必ず手洗いや手指消毒を行う。
- ④ 近距離での会話や対面での発声を控え、会話や発声をする場合は（適切に換気をした上で）マスクを着用することが望ましい。
- ⑤ 休み時間中にじゃれ合ったりして至近距離にならないように気を付ける。
- ⑥ 登校後、体調が悪くなったら躊躇せずに早退を申し出る。

4. 昼食

- ① 食事をする前の手洗いを徹底する。
- ② 机を向い合せにしたり、隣どうしでくっ付いたりせず、できるだけ会話を控えるなど、飛沫を他者や食べ物に飛ばさないように心がける。
- ③ 昼休みは換気を行うこと。

5. 部活動

- ① 生徒本人、保護者の同意（承諾）をとって活動する。
- ② 発熱や風邪の症状がある場合は活動に参加しない。
- ③ 顧問や部活動指導員が活動状況を把握できる環境下で行う。
- ④ 部室や更衣室が密集状態とならないように、利用を調整する。
- ⑤ 体育館・屋内とも、換気を徹底する。
- ⑥ 組み合ったり、向かい合って発声したりする活動は避け、密集せずに間隔をとって活動する。
- ⑦ 感染拡大防止の観点からも、より短時間で効果的な活動となるよう工夫する。
- ⑧ 練習前、練習中の休憩時間、練習後には、手洗い・うがいを徹底する。
- ⑨ 県内外を問わず、大会への参加を含めて、合同練習会や練習試合、合宿、演奏会、地域行事への参加、他校との交流をしないこと。
- ⑩ 活動終了後は速やかに下校し、分散下校を心がける。